



米子市福市考古資料館通信

第10号

2023年9月



企画展2「尾高城跡の発掘調査の最新成果 ー土の城から石の城へー」を開催します。

福市考古資料館では、10月14日（土）から企画展2「尾高城跡の発掘調査の最新成果 ー土の城から石の城へー」を開催します。

一昨年度と昨年度に発掘調査が行われました尾高城跡の本丸と二の丸では、石塁や石垣等が検出され、これまでの尾高城跡の様子が一変するような成果がありました。今回の企画展では、発掘調査で検出された遺構の写真パネルや出土遺物を展示し、尾高城跡の最新成果を紹介します。

会期は、令和6年1月15日（月）までとなっております。観覧料は無料ですので、是非、この機会にご観覧ください。

米子市福市考古資料館 企画展2

尾高城跡の発掘調査の最新成果 ー土の城から石の城へー

これまでの尾高城跡の姿が一変する新たな発掘調査の成果を速報します。



尾高城跡 本丸 石塁

開催期間 令和5年10月14日(土)~令和6年1月15日(月)
会場 米子市福市考古資料館
開館時間 9:30~17:00 (最終入館16:30)

問
合
先

米子市福市考古資料館
米子市福市461番地20
TEL 0859-26-378
(FAXは同番号)

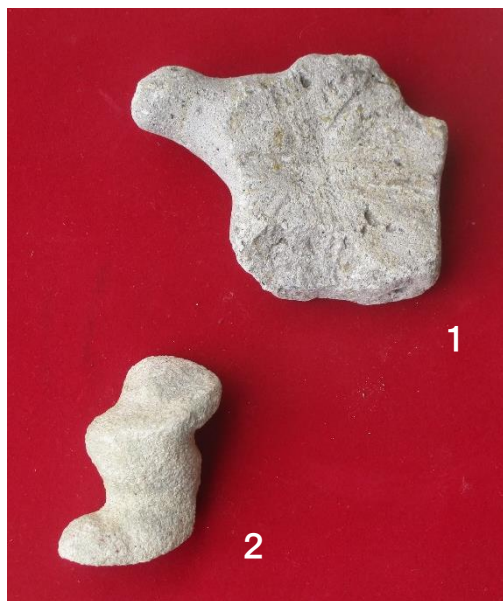
- 開催期間 令和5年10月14日（土）～令和6年1月15日（月）
- 開館時間 9：30～17：00（最終入館16：30）
- 観覧料 無 料
- 休館日 毎週火曜日 11月6日（月）、11月24日（金）
12月29日（金）～1月3日（水）
1月10日（水）

展示品紹介 がん ぐう 岩 偶（目久美遺跡）

展示室では、目久美遺跡から出土した縄文時代の岩偶を展示しています。

岩偶とは、凝灰岩や砂岩といった軟質の石で作られた石製のひとがた人形です。縄文時代後期から晩期にかけて東北を中心に東日本で多く見つかっており、西日本ではあまり見つかっていません。

写真の1は安山岩製の胴体の部分で、頭部、左手、足が欠損していますが、背中中央には放射状の擦痕があります。2は細粒花崗岩製の足の部分で、足を曲げた状態となっています。いずれも全身像ではなく、体の一部分しか残っていません。土偶の大半が何らかの形で意図的に壊したとみられるものが多く、これらの岩偶も土偶と同様に意図的に壊したと考えられます。

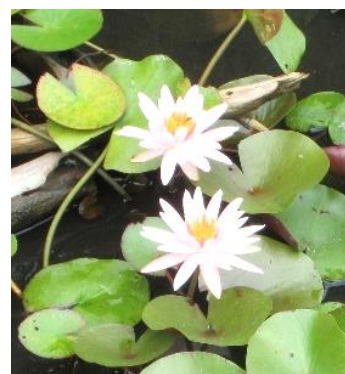


岩 偶

岩偶は土偶とは素材が異なりますが、女性を表現したものが多く、土偶と同様に、生命の再生、安産、豊穡を願ったものと考えられ、縄文時代の人々の生活に欠かせないものであったと思われます。

福市遺跡の四季

福市史跡公園の奥には、庭園の池として東屋や飛び石がつくられ、池にはスイレンが植えられています。夏になると池中にたくさんのスイレンの花が咲き誇り、周辺の青々とした木々や芝生とともに、ひと時の清涼感を与えてくれます。また、池にはザリガニが生息し、池底にその姿を見ることができます。親子でザリガニ釣りを楽しむのもよろしいでしょうし、公園内を散策し、東屋から池のスイレンを眺めながら季節を感じてみてはいかがでしょうか。



福市史跡公園の池のスイレン

発行者 米子市福市考古資料館（指定管理者 一財・米子市文化財団）
住 所 〒683-0011 米子市福市461-20番地
電 話・f a x 0859-26-3784（同番号）
休館日 火曜日・祝祭日の翌日・年末年始（12/29～1/3）